

海の活動に関する注意事項

組み立て式いかだ

定員：8～12名 全6艇

活動前の準備

チェック☑

- ◆ 服装は、「ぬれても良い服装」「帽子」「運動靴 or かかとが留まるサンダル」をお願いします。
- ◆ 活動中は必ずライフジャケットを着用して下さい（ライフジャケット置き場はピロティ前です）。
- ◆ ボート活動の道具と活動エリアの確認をしてください。
- ◆ 無線の確認：「ボートが沖へ流された」「転覆」「オールが流された」など救助が必要な場合、無線で事務室に連絡下さい。
呼び出し方法例「こちら〇〇学校ですが、文部若狭事務室、感度ありますか、どうぞ。」
事務室から応答があった後、内容を伝えて下さい。

活動が始まる前に「活動中の注意事項」や「エリア・活動方法」について指導をお願いします。

組み立ていかだの活動方法

1. 道具を浜に運びます。
(フロートと丸太は重いので協力しましょう)
2. ロープを使用し、フロートと丸太を組み立てます。
(模型を参考にしてください)
3. 完成したら、みんなで協力していかだを海に出して漕いでいきます。

- ※ 適度に休憩を取ってください。
- ※ 緊急時は、無線で事務室に連絡してください。

準備するもの（1艇分）

自然の家事務室

- ・組立式いかだ用模型
- ・無線機



ピロティ

- ・木製パドル
- ・組立式いかだ用ロープ



ピロティ前

- ・ライフジャケット



スロープ

- ・フロート（2台）



スロープ 踊り場

- ・組立式いかだ用丸太（8本）

活動中の注意事項

注意

- ・活動する人は、必ずライフジャケットをつけてください。
- ・ボートエリアでは泳がないでください。
- ・いかだで他のエリアに入ったり、湾の外に出たりしないように注意してください。
- ・「定員以上の人が乗る」「海に飛び込む」「押し合う」など、危険な行動をしないようにしてください。
- ・いかだを使わない時は、波打ち際に置かないようにしてください。

※ 上記のルールが守れない場合、“活動を中止”して頂く場合があります。



活動後の片付け

チェック☑

- ・使用したライフジャケットやオールは、水洗いをして元の置き場に戻して下さい。
- ・組立イカダは、分解して元の場所に戻して下さい。
- ・無線や事務室で貸し出した道具は、事務室に返却をお願いします。





- 【ピロティ前】**
- ・ライフジャケット
 - ・ディンギーランチ
 - ・2人乗りポート (団体掲揚台横)
 - ・3人乗りカヌー (団体掲揚台横)
 - ・2人乗りカヌー (団体掲揚台背面)

- 【ピロティ】**
- ・オール
 - ・パドル (木製・アルミ)
 - ・いかだ用ロープ

- 【スロープ】**
- ・組立式いかだ (フロート部分)
- 【スロープ踊り場】**
- ・組立式いかだ用丸太

- 【大浜】**
- ・3人乗りポート

- 【自然の家事務室】**
- ・クラッチ、ポート栓
 - ・無線
 - ・組み立ていかだ模型

- 【海の学習棟】**
- ・更衣室 (温水シャワー)
 - ・洗濯機・乾燥機

トビーのライフジャケット講座



- ☆ライフジャケットは前のファスナーと紐 (バックル) をしっかりとめよう!
- ☆ボート用ライフジャケットを着て、水に入って泳いではいけません!
- ☆ライフジャケットが海水でぬれてしまったら真水で洗おう。
(団体旗用掲揚台の両脇にホースがあるよ。)
- ☆ライフジャケットを使い終わったら、元通りファスナーと紐を締めてハンガーにかけておいてね!